

認知症サポーター活動促進研修と認知症カフェの支援者育成研修

NPO法人 城南健康ふれあい倶楽部
〒830-0023 福岡県久留米市中央町35-1

助成事業の概要

◇認知症支援活動促進研修：平成 28 年度 3 回（6 月・11 月・3 月）で実施

- ①対象：久留米地区の認知症キャラバンメイトや一般サポーター
- ②目的：認知症を理解し、地域単位での支援の輪を拡げていく
- ③内容：
 - 1) 認知症問題の最新情報&様々な活動の事例紹介
 - 2) 認知症カフェ支援者研修&意見交換会

◇認知症カフェ（ほっとカフェ）サポーター育成研修+介護家族の支援含む 19 回開催

- ①対象：認知症カフェ（ほっとカフェ）サポーター（地域ボランティア、専門大学生、運動指導士等）研修
- ②目的：認知症の理解を深め、認知症本人の接し方を学びほっとカフェの利用者のサポートを行う
- ③内容：前半は、介護保険改定等取巻く環境を学び、後半はサポーター同士の交流会として課題等を討議
昨年 8 月からは、介護家族の支援が不可欠となり、個別の介護家族の相談や支援の在り方を学んだ

事業の成果

◇認知症支援活動促進研修（6 月・11 月・3 月

開催）

1) 全国的に課題であるキャラバンメイトの発掘と育成研修を目指しましたが、なかなか参加者が少なく 2 回目からは、一般サポーターや地域の方々にも対象を拡げての開催となった

2) ご参加頂いた方々は、認知症問題に対する意識や関心が高く、認知症カフェのサポーターとしての活動に参加したり、倶楽部主催の認知症セミナーや各種行政等が行うセミナー等にも積極的に参加され支援者の輪の拡がりに寄与した

◇認知症カフェ（ほっとカフェ）サポーター育成研修+介護家族の支援含む 19 回開催

1) 京都の事例（最初に支援者は 3 回講座受講）を参考に、毎月の開催を行い学生含むサポーターの知識や意識の向上に貢献し、認知症本人への対応・笑顔のコミュニケーションが円滑となった

2) 看護学科等専門学生は、授業や実習等多忙で参加者は当初より少なかったが、4 年生が自発的に『認知症カフェと学生の役割』について卒論のテーマとして発表（一昨年は 3 名）し、学生にとっての認知症カフェでの学びが自分の家族や就活にも大いに参考になっている事も証明された

3) 又、8 月から始めた介護家族の支援については、介護者の負担軽減は勿論認知症本人への接し方（否定しない・怒らない・驚かせない等穏やかな対応）の変化により一部大幅な改善もあり進行防止にも寄与している（別紙参照：改善事例のま

とめ)

4) 上記介護家族の支援は、その成果により 29 年度は、“介護者の集い（笑進の会）として発足し全国的な家族の会の活動とも連携しながら開催予定で、今回の貴団体の 29 年度の助成事業にも申請をさせて頂き、認可を頂きました

■ 成果の広報・公表

1) 認知症カフェには、介護事業者や病院等が行う専門的なカフェと NPO や任意団体が行うオープンなカフェがあり、当ほっとカフェは後者で“認知症予防カフェ”として、平日毎日、21 団体、65 名の支援体制、受益者負担原則の会費制が特長で、県知事表彰やマスメディアに取り上げて頂き認知症カフェを開催希望の見学者や体験者も増えている

2) この助成制度により、キャラバンメイトや一般サポーターの拡大も必要ですが、地域単位での専門家との連携や支援者の輪の拡がりそしてその質の向上(育成研修)はこの認知症カフェのサポーターの拡大が大いに寄与する事を学びました

3) 今後 2025 年問題を控え認知症初期の方や軽度の方への改善や進行防止そして家に閉じこもっている潜在的な予備軍や心配で不安な高齢者の予防を目的とした“認知症予防カフェ”の必要性を伝えていければと考えています

■ 今後の展開

1) 認知症カフェ 4 つの特長：①平日毎日運営
②笑顔で楽しいプログラム ③21 団体 65 名の支援体制 ④会費制の更なる充実を図りながら、認知症本人の改善・進行防止、家族の負担軽減

そして潜在的な予備軍の早期発見、心配で不安な方々への予防に寄与していければと思います

2) この“認知症予防カフェ”の活動が、行政や介護事業所並びに認知症に関連する各団体に理解され、各小学校校区単位での展開となり、地域単位での専門家や一般支援者の輪の拡大により限りなく認知症患者が少ない町、医療費・介護費が少ないそして認知症になっても安心して暮らせるまち創りに寄与していければと考えています

この日本社会福祉弘済会の助成制度のお陰で、27 年度は京都地区（3 日間）、東京地区（3 日間）の先進的な認知症カフェ運営者や各地区の行政や団体を訪問させて頂き、28 年度は認知症カフェを継続的に運営を推進して行く為の支援者の輪を拡大し、29 年度は本当に困っている介護家族の支援にもお役に立てればと考えています
あらためて、3 年目になりますがこの助成制度を活用させて頂き感謝しています
今後ともご指導ご支援を宜しく願います